



インタープリター養成セミナーのご提案

自然教育研究センター

インタープリテーションとは

インタープリテーションは地域の自然や文化の価値を伝える教育的な活動です。欧米の山岳ガイドの中から生まれ、アメリカの国立公園において発展、洗練されてきました。

教育といってもレクリエーションサービスとしての要素を持ち、楽しみながら地域の自然や文化を直接体験する場を創り、その価値を共有する人を育てていきます。

自然公園施設を始め、自然体験型の観光（エコツーリズム）や自然学校、社会教育施設や学校など、官も民も含む様々な場所で取り組まれています。



インタープリターとは

「自然のメッセージを伝える人」「自然の言葉を翻訳して伝える人」「自然案内人」。

インタープリテーションを現場で担当する人材がインタープリターです。日本の自然公園においても専門職として活動する人が増えています。「自然ふれあい」施設や、エコツーリズムが成功するかどうかはインタープリターの資質に負うところが大きいと言えるでしょう。



インタープリターは地域を元気にします

自然教育研究センター（CES）では、1992年より主催や共催を含めて様々な形でインタープリテーションに関するセミナー、研修会を実施してきました。

インタープリテーションは狭義には自然公園や博物館等における解説業務を指しますが、現在は民間の自然学校や自然体験型の観光、さらには環境教育の手法として学校や生涯教育施設などの中でも取り組まれています。CESのセミナーもいろいろな対象者にプログラムを提供するようになっていきます。

地域で自然ふれあい活動を促進する「インタープリター」を養成することを通じて、共生型社会の実現のお役に立ちたいと考えています。

例えばこんな位置づけのセミナー...

自然公園や宿泊施設、キャンプ場などの活性化

拠点で活動するプロのインタープリターやボランティアを育成し、自然体験活動を通じて、施設の魅力を高め、利用を増やします。

エコツーリズムやフィールドミュージアム、地域資源を活かした自然体験型観光の創成のために

これらの地域づくりコンセプトの中では自然ガイド（インタープリター）の養成が不可欠です。魅力あるプログラムの実施はインタープリターが担っています。

地域を題材にした環境教育の推進

生涯教育として環境教育のリーダー養成、教員研修を通じて地域を愛する市民を育成します。



CESのインタープリテーション養成セミナーの特徴

最新の情報に基づいたセミナープログラム

CESはビジターセンター等における豊富なインタープリテーションの経験と、アメリカ国立公園局のパートナーシップによるセミナーを通じて得られた情報をもとに、常に最新の手法と内容のインタープリテーションセミナーを行っています。

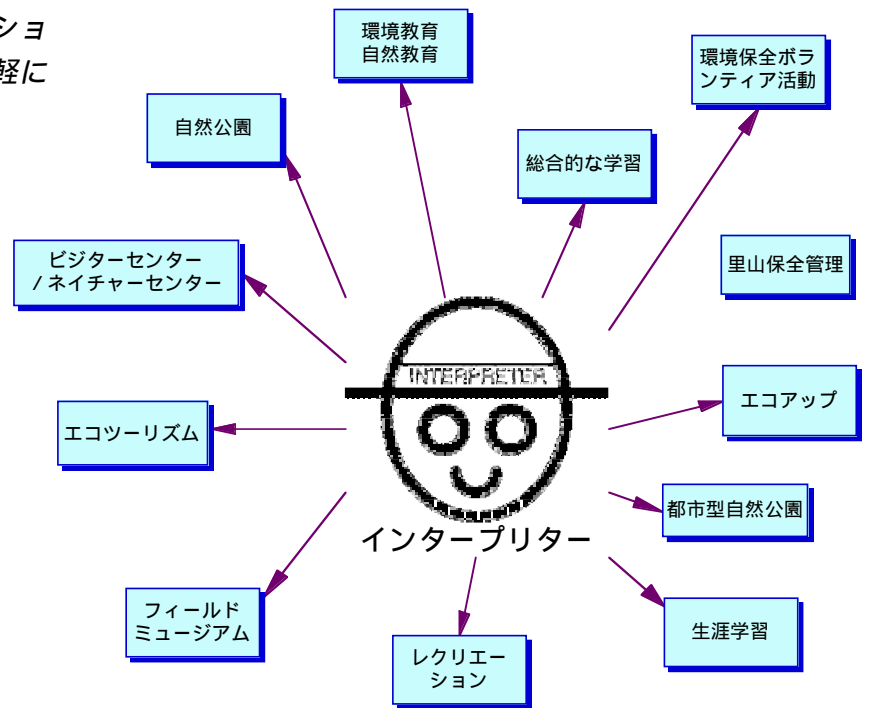
体験的・主体的に学ぶ

セミナーといっても単なる知識の伝授ではなく、参加者が楽しく主体的に学ぶことを大事にしたいと考えます。人を元気にすることが、地域を元気にするエネルギーになると私たちは考えます。

地域にあったデザイン

既存の画一化されたセミナーを行うのではなく、地域の状況やねらいに合ったセミナープログラムを企画いたします。

セミナーに関して、またインタープリテーションに関して、ご相談等ございましたら、お気軽にご連絡をください。



自然教育研究センター 研修会実施・講師派遣実績

- ・インタープリタートレーニングセミナー（15回）主催
 - ・チーフインタープリタートレーニングセミナー（6回）主催
 - ・アメリカ国立公園局と共催の研修会
 - 1995年グランドキャニオン（基本研修レベル）
 - 1997年ハワイ（中級研修レベル）
 - 1998年ヨセミテ（初級研修レベル）
 - 1999年インディアナデュース
 - 2000年屋久島
 - 2001年ハーパーズフェリー・シェナンドウ国立公園
 - ・環境庁 自然解説担当者研修会講師（1992～2001）
 - ・文部省野外教育企画担当者セミナー講師派遣（1999～2001）
 - ・河口湖町フィールドセンター・インタープリタートレーニングセミナー
 - ・（財）東京都公園協会インタープリターOJT
 - ・各地パークボランティア研修会（裏磐梯、山形、天草、尾瀬、神奈川、箱根、柵池他）
 - ・環境庁環境研修センター国立公園管理官等研修（1996、97、98、99）
 - ・せたがやトラスト協会ボランティア研修（1994、95）
 - ・ダイビングリーダーのための自然解説セミナー（1997）
 - ・石川県白山自然保護センターボランティア研修会（1997）
 - ・沖縄県エコツアーガイド研修会講師（1999）
 - ・（財）キープ協会主催インタープリターズキャンプ講師（1999）
 - ・日立市助川山市民の森指導者研修会（1999）
 - ・横浜市環境保全ボランティア研修（1999）
 - ・高知県インタープリター養成講座（1999-2000）
 - ・屋久島環境文化センター研修会講師（1999）
 - ・島根県インタープリター養成講座
 - ・JON（日本アウトドアネットワーク）研修所研修会指導（1998、2000）
 - ・日立市環境を創る日立市民会議「自然環境部会」自然塾講師（2000）
 - ・高知県施設企画担当者・専門職員研修会講師
 - ・プロジェクトワイルド・エドゥケーター養成講座（2000～）
 - ・小笠原村商工会インタープリター養成講座
- その他多数。

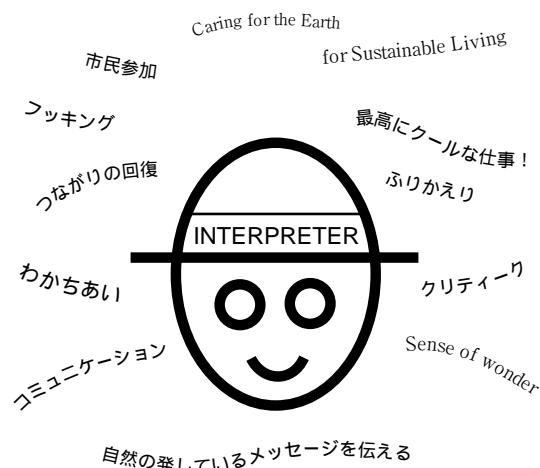


<自然教育研究センター・インタープリテーションに関連したその他の業務>

自然教育研究センターは、自然公園施設におけるインタープリテーションの計画・実施を中心にして、指導者の養成、資料化など、インタープリテーションや環境教育に関わる業務を総合的に行っています。

業務例

- ・インタープリター派遣
- ・自然公園施設、環境学習施設等のコンサルティング
- ・自然公園施設、環境学習施設等の管理・運営
- ・施設（ネイチャーセンター、ネイチャートレール、展示、野外解説板等）のプランニング
- ・自然教室など、自然ふれあいプログラムの実施
- ・地域の自然学習、環境教育教材・ティーチャーズガイド等の作成



お問い合わせは...

(株)自然教育研究センター



〒190-0022 東京都立川市錦町2-1-22

電話 042-528-6595 ファックス 042-528-6596

E-mail ces@interpreter.ne.jp

ホームページ : <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/CES/>

担当 : 小林 毅 (こばやし・たけし) 古瀬 浩史 (ふるせ・こうじ)